



希望

学校ホームページアドレス <https://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/sugita/>

学校
ホームページは
こちら



へいわって どんなこと？

校長 藤崎 健児

街路樹の若葉が目まぶしい季節となりました。1年生は小学校に入学してから、また2年生以上の子どもたちは新しい学年に進級してから1か月になります。学校生活に慣れ、教室や運動場からは元気な声が響いています。

5月10日(火)のテレビ朝会で、1冊の本を紹介したいと思っています。それは「へいわってどんなこと？」という絵本です。平成24年度の青少年読書感想文コンクールの低学年向け課題図書です。

このお話は「きっとね、へいわって こんなこと。」の言葉から始まります。そして、「せんそうをしない。」「ともだちといっしょにべんきょうができる。」「わるいことをしてしまったときはあやまる。」などと続きます。そして、「きみがうまれてよかったということ。きみとぼくはともだちになれるということ。」でお話が終わります。

小学校3年生から4年生にかけて、私は長崎市に住んでいました。その町の名前は「平和町」です。原爆が投下された「爆心地」に近い小学校に通いました。自宅近くには原爆資料館があり、戦争の悲惨さ、原爆投下の悲劇を伝えていました。当時は原爆投下から30年ほどしか経っておらず戦争の様子を伝える「語り部」も多くいました。そして、私たち小学生に戦争や原爆投下の話をしてくれました。夏休みの8月9日は登校日で、原爆が投下された時刻、午前11時2分に黙祷を捧げました。この経験によって、「二度とこのような悲劇を繰り返してはいけない。」という思いが心の奥底に刻み込まれた気がします。

2021年8月6日の広島平和記念式典では広島市の小学生二人が「平和の誓い」として、「私たちの願いは、日本だけでなく、全ての国が平和であることです。そのために、小さな力でも世界を変えることができると信じて行動したい。誰もが幸せに暮らせる世の中にすることを、私たちは絶対に諦めたくありません。」と伝えました。そこで、杉田小学校の1年生から6年生の子どもたちに私も何かを伝えたいと思い、この絵本を読むことにしました。

休み時間に元気よく友達と遊ぶ声。教室から聞こえる、とびっきり元気で明るい歌声。給食の時間、「黙食」のまま私に笑顔で手を振る子。大切にダンゴムシを手を持って歩く子。資料を活用して「日本で一番人口の多い県」を調べる子。長縄跳びで、入るタイミングを「いまっ。」と大きな声で友達に伝える子。1年生を迎えるためにクイズをしたり、手作りのメダルをプレゼントしたりするとともに、全校に伝えるために委員会の仕事を熱心に行う高学年…。平和を実感し、この子どもたちのために平和を守らなければいけないと強く思うとともに、一刻も早く、世界に起きている紛争が終わり、平和が戻ることを願っています。

